

米兵・
少女暴行事件

自衛艦・
漁船衝突事件

繰り返される国民犠牲

また、命と尊厳がふみにじられました



速やかな真相究明を求めると同時に、
再びこのような事件を起こさないよう
抗議の声を集中させましょう

■ アメリカ大使館...FAX03-3505-1862

■ 防衛省...FAX03-5269-3270

自衛隊イービス艦の漁船沈没事故は、「そのけそのけ自衛隊が通る」という、軍事優先の体質が生み出した悲劇です。しかも、石破防衛大臣はじめ、防衛省は虚構の報告を繰り返して、真実隠蔽の姿をあらわにしています。

この事件は、船舶が密集する東京湾に横須賀基地をはじめ軍事基地が多数おかれていることの危険性を改めて示しました。

事故を起こしたイービス艦「あたこ」は、京都の舞鶴自衛隊に配備されている艦です。舞鶴港内で、このような事件がおきても不思議でないといえます。

自衛隊は、テロ特措法にもとづくインド洋での給油活動で航海日誌の破棄、潜水艦「なだしお」事件での航海日誌の改ざん。相次ぐ犯罪・負傷氏の発覚など、国民よりも「自らを守る」ことを第一に考えているのではないのでしょうか。



自己保身、事実の隠蔽

軍事優先が事故をまねく

繰り返される米兵犯罪 米軍の基地縮小・撤去を

沖縄で痛ましい事件が繰り返されました。米兵が14歳の女子中学生を暴行し、逮捕されたのです。いま、沖縄は悲しみと怒り、抗議の声に包まれています。

事件が明るみに出た翌日、沖縄県教育庁は、各市町村教育庁や高校等の校長に「児童・生徒の安全を呼びかける通知」を出しました。米兵から子どもを守る……こんなことに学校や父兄が心配しなければならぬ事態、異常事態です。まさに沖縄植民地です。

福田首相は「米軍はどうなっちゃったんですかねえ」などと、他人事のような口ぶり。日本政府の責任は重大です。今こそ、米軍基地の縮小・撤去こそ大切です。

在日米軍による事件・事故
(1952年～2006年)

件数：20万4785件
日本人死者：1081人

復帰前の沖縄を除く 国会提出資料

日本を戦争できる国にすることをねらった

新憲法制定

議員連盟

自民・民主で新体制

憲法9条守れ！の世論の高まりに危機感



京都選出の議員同盟役員

- ・伊吹文明（顧問・自民）
- ・谷垣禎一（顧問・自民）
- ・上田 稔（顧問・元参員自民）
- ・前原誠司（副会長・民主）

憲法9条守れ！
声をさらに大きく

憲法改悪のねらいは、憲法9条をなくして「日本を戦争できる国にする」ことです。イラク戦争で孤立するアメリカ。世界の流れは、戦争ノーズです。憲法9条の役割は益々大きくなっていきます。



「九条の会」に對抗 地方の拠点づくりねらう

憲法9条守れの運動は、全国に大きく広がった。「九条の会」は全国で6千を超え広がっています。新憲法制定議員同盟の方針は、「九条の会」への対抗むき出しのものです。

総会では、当面の活動方針として衆参両院の憲法審査会始動へ働きかけを強める。民主、公明両党の議員への会員の増強を進める。「九条の会」に對抗していくために地方の拠点づくりをすすめるとしています。

憲法をめぐる国民の世論は明らかです。昨年の参議院選挙で、「戦後レジームからの脱却」をきっかけ憲法改悪を一気に進めようとした安倍自公政権は、歴史的な大敗北を記し、参議院で与野党が逆転しました。このため、衆参両院に設置された憲法調査会も野党の反対でいまだに始動できない状態に追い込まれています。改憲同盟の新体制発足は、国民世論に真つ向から挑戦し、憲法審査会の始動をねらったものです。

国民世論は、9条守れ

自民、民主、公明などの改憲派議員でつくる「新憲法制定議員同盟」（会長中曽根康弘）は4日、国会内で総会を開催。民主党からは鳩山由紀夫幹事長が顧問、前原誠司副代表が副会長に就き改憲策動を推進する新体制を発足させ、憲法改悪への策動を強めようとしています。

